

557.1  
'82.1月 No.196  
OMC news

★新年おめでとうございます

本年もどうぞよろしく！アンケートの回答を拜見しながら新春を迎えました。圧倒的に希望の多いのは講習会でした。出来るだけご意見を反映して、花も実もあるOMCにして行きたいと思います。世はまさにビデオ時代、すばらしい進歩です。

しかし緻密な編集とシャープな画面、あの廻転音と大スクリーンで見る8ミリの魅力は格別です。今年もあなたの傑作を期待しています。ウンダフルな年でありますように。(川畑)

★12月例会のレポート

今月は師走のせい、例会日がいいつもと違う第3土曜日だったせいか？出席者出品作品とも極端に不振でした。まずAコーナーは井脇氏の「奈良の秋」フジの撮影会作品ですが、テーマをすすきとボートに絞るともっと印象的なムード映画になりました。Cコーナーは出品作品がな

く、参考作品が2本。柴谷氏の「時代を超えて息づく町」飛騨高山の雪のシーンが印象的でした。川畑氏の「黒のバラード」10年前のOMC撮影会作品で、ヌードが出てくる異色作品、超ミニスカートが当時の風俗を思い出させます。先月の例会ニュースでお願いした会の運営にかかるアンケートの途中経過を報告。それについて出席者全員の意見を出し合いました。会の運営がマナーリにならぬようよりよい例会のあり方について有意義な話し合いが行われました。これからもどしどしご意見ご希望はお申し出下さい。今月の新入会は森かずみさんです。よろしく!!

★CFCライブラリー上映の件

これから毎月例会には友の会シールをご持参下さい。ご希望の作品もお申し出願います。

★1月例会は23日(第4土曜日)於・上六府教育会館。4F視聴覚室。6時20分開会。(前田記)

# OMC news

## ★新年会は和気あいあい

久しぶりの新年会を16日(和貴荘)で開催。8ミリマンの集りだけに映写はなくとも話題は自然に8ミリに。一次会つづいて二次会へと大いに親睦が深められた。

## ★春の撮映会は「伏見」で

城下町伏見の歴史を縦糸に幕末のエピソード寺田屋、堀それに酒蔵を絡ませてその風土を描くものです。2月例会で申込みを受付けます。大勢の方をご参加を期待しています。

## ★秦氏日本映像フェスに

11月例会で上映した秦氏の「蝶歳時記」が日本映像フェスの特別賞に入賞。例会でも絶賛された力作で全国コン高位入賞が期待されていただけにさすが大ベテランです。つづいて山形氏の「余呉路の詩」が冬季クォーターコンに入選。新年早々から幸先よいビッグニュース。

## ★1月例会のレポート

Aコーナー 武田氏の「エリアル合成テスト」 ハーフミラーを使って二台の映写機を合成したのが新しい試み。越本氏の「京の四季」地元だけに丹念に撮ってました。Cコーナー 新入会の杉之下氏の「金箔に生きる」杉之下氏は転勤で東京より来られたベテラン。早速名刺替りに新作を披露。加賀の金箔の出来るまで映画。珍しい題材を几帳面に撮ってあり仲々の力作。早や秋の映写会候補作品の一つにノミネートされた。参考作品に増田氏の「濁沢団地」、前田氏の「湖の糸」、川畑氏の「山襲に祭囃子が」を上映。ほかに新入会は奥さんです、どうぞよろしく。

## ★ライブラリー上映について

友の会シールの集まりが悪く困っています。例会にはシールを忘れずにご持参下さい。

★2月例会は27日(第4土曜日) 於・上六府教育会館。4F視聴覚室。6時20分開会。(前田記)

# OMC news

## ★春です 8ミリシーズンです

春の足音がそこまで近づきました。うららかな陽光のもとで8ミリを廻す絶好の季節。春の撮影会も4月25日京都伏見で行ないます。美人アナウンサーをモデルに伏見の街をたずねる企画。多数の参加を期待します。

## ★川畑会長高山コン推薦に

去年の柴谷氏につづいて、今年には川畑氏が推薦に、柴谷氏が特選に入賞。高山コンをOMCが2年連続征覇。フジコンでは横山氏、柴谷氏、福田氏それに井脇氏の4氏がブロック賞に入賞。先月今月とこのところ全国コンの入賞ラッシュがつづいて大変喜ばしいニュースです。

## ★2月例会のレポート

このところ出品作品が少ないのはどういうわけでしょうか。3月例会では映写係が悲鳴をあげる位出品下さい。まずEコーナー上総氏の「寿英尼多難」全員が一人一言づつ作品をけなすコ

ーナーでその悪言苦言の中から作品の方向づけを汲取ってもらおう趣向。力作ながらも構成を工夫し、ナレBGMを一考すればさらによい作品になりそう。つづいて撮影会作品の公開審査に移った。出品者を含めて全員が4本づつ投票、その得票数を競い合った。

秋鷹ヶ峰	今井氏
燃える秋	武田氏
洛北散策	森氏
秋の一日	香島氏
秋の洛北	岩井氏
ひととき幻想への飛翔	金城氏
鷹ヶ峰紅葉のころ	山形氏
娘への願い	合原氏
その結果1位今井氏、2位合原氏、3位山形氏、4位森氏の各氏が入賞。	

## ★友の会シールをお忘れなく!!

毎月忘れずにご持参下さい。

★3月例会は24日(第4土曜日)於・上六府教育会館。4F視聴覚室。6時20分開会。(前田記)

557.4  
'82.4月 No.199

# OMC news

## ★春の撮影会は4月25日です

3月例会で希望者を募ったところこれまでにない多数で企画係はうれしい悲鳴。映写会作品の中から傑作が生まれています。今回の最高賞は誰の手に。

## ★山形氏キャノンコンへ

昨年は7名の入賞者を出して注目をあびましたが、今年も3名の入賞に輝きキャノンコンに強い所を見せました。まず山形氏がドキュメンタリー部門2席に入賞。有村、前田の両氏が入選に。激戦のこの部門に3名の入賞者が選出されたことはOMCのレベルが全国的にみて高いことの証拠。この快挙を来年も続けたいもの。エルモ関西本部コンでは福田、前田の両氏が銀賞、森氏が銅賞に入賞。オーストラリア国際コンでは有村氏が10位に入賞。秋の映写会も刻々と近づいています。全国コンへの道は映写会での上位入賞から。会員諸氏の一層の奮励を期待。

## ★3月例会のレポート

今月も出品作品が少なくて残念。ラッシュ、音なし、何でも結構どしどしご持参下さい。あまり作品が少ないと会の運営にも支障を来たします。ラッシュ歓迎今月こそは多数ご出品下さい。その意味では今月のAコーナーは問題でした。Cコーナー作品をAコーナーに出品。これでは来月からAコーナーに出品しづらくなるとの声あり。ごもっともでした。Aコーナー変じてCコーナー作品は柴谷氏の「京春抄」、前田氏の「京の琴線」いづれも月例賞。飛び入り作品に増田氏の10年前の撮影会作品「赤穂の海」この時は完成作品の出品がなかった由。川畑氏の「しばらくお時間を拝借」を上映。

## ★友の会シールをお忘れなく!!

毎月忘れずにご持参下さい。

★4月例会は24日(第4土曜日)於・上六府教育会館。4F視聴覚室。6時20分開会。時間厳守。

# OMC news

## ★伏見撮影会は大成功

当日は快晴にめぐまれ美しいタレント河合嬢をモデルに心ゆくまで撮影した。寺田屋では打上げの宴を開き、大成功を祝して杯を重ねた。構成上不足カットも多くあると思いますので、ハッスルして撮り足して下さい。

5月例会時ナレ・テープ配布と、写真資料を持参しますので撮られる方は早目にご出席下さい。誠に恐縮ですが、¥600づつ追加出費をお願いします。

(企画係より)

## ★杉之下氏小倉氏エルモコンへ

今年になって毎月全国コンの入賞者が出てまことに喜ばしいことです。今月はエルモコン教材部門推薦に杉之下氏が、特選に小倉副会長が入賞。クオータリーコンには上田氏が銀賞入賞。3氏ともおめでとう。

## ★4月例会のレポート

このところ減少気味だった出品数が、今月は7本も上映され、

久しぶりにOMCらしい盛況を取り戻した。

Aコーナー福田氏の「祈り」、今井氏の「秋鷹ヶ峰」、合原氏の「娘への願い」いずれも秋の撮影会の1位、2位の作品です。

Cコーナー新入会の若人山田氏の「必殺仕置人」若者らしいセンスの良さとパロディーのきいた長編ドラマ。技術が及ばなかったのが残念でしたが、今後若い人らしいセンスを生かした作品を見せてほしいもの(奨励賞)。宮井氏の「春らんまん」。香島氏の「余呉の里」。杉之下氏の「五箇の紙すき」さすがベテランそつのない纏め方で大いに見せました。ことに雪のシーンと唄の組合せは秀逸です(月例賞)。久々に充実した4月例会でした。

## ★友の会シールをお忘れなく!!

毎月忘れずにご持参下さい。

★5月例会は22日(第4土曜日)於・上六府教育会館。4F視聴覚室。6時20分開会。(前田記)

517.6

'82.6月 No.201

# OMC news

## ★フェスヘラストスパート!!

9月24日はOMCフェスティバルです。これまでも作品のレベルの高さ、内容の豊富さから根強い固定ファンに支えられて好評裡に行われて来ました。過去の伝統に恥じない良い作品を並べたいもの。あと3ヶ月ハッパをかけて制作に励んで下さい。

## ★8ミリ雑感

ビデオが台頭し8ミリが沈滞している今私達は何をなすべきでしょうか。私達は今こそ地道な活動が必要ではないでしょうか。友人知人に8ミリの良さをPRする、こうした運動は一つ一つは小さいかも知れません。しかしそれがやがて大きな実を結ぶのではないか、そんな気がしてなりません。私達は8ミリの良さを誰よりも理解しています。8ミリの良さを知らないでビデオに飛びついた人々がビデオに失望し、きっと8ミリに戻って来るそう信じたいもの。キャノ

ンコンの公開映写会も今年限りで終了。来年はビデオと抱き合せの発表方式を考えている様子。コンテストは継続されるようですが何とも寂しいニュースです。キャノンコンという大きな目標が崩れ去ったような気がしてなりません。

## ★撮影会作品のノ切は7月24日

今回は企画の意欲的なシナリオから良い作品が生まれそうです。20分以内で例会日に提出下さい。

## ★5月例会のレポート

今月も作品が少なく寂しい例会。Aコーナー野村氏の「朱霊狐魂」。宮井氏の「ある漁港」。前田氏の「柄杓」。参考作品に川畑会長の「収獲」。内3本は旧作、新作は1本のみ。毎回お願いしてますように作品が少ないと会の運営が盛り上がりません。ラッシュ何んでもOKご出品下さい。

★6月例会は26日(第4土曜日)於・上六府教育会館。4F視聴覚室。6時20分開会。(前田記)

5.17.7  
'82.7月 No.202

# OMC news

## ★撮影会作品は7月24日ノ切

最高作は公開映写会に上映の予定。例会日にご持参下さい。

## ★秋の撮影会は10月10, 11日に決定!!

今回は親睦会も兼ねて1泊2日で行います。愛知県の三洲足助屋敷を予定。宿場町で伝統の手仕事をしている職人達の集落で、機織り、炭焼き、鍛冶屋、和傘作り、紙漉き等の11種の絵になる被写体ばかり。詳細は小型映画5月号を参照下さい。宿の都合もあり人数把握のため7月例会時に申込みを受付ます。

## ★OMCフェスは9月24日

今年はどこの映写会も低調で、8ミリの置かれている状態をよく表わしています。しかしOMCの公開映写会は是非満員盛況にしたいもの。それには良い作品を並べてファンを呼び込む外ありません。プログラム印刷の都合もあり、完成してなくとも一応8月10日にご提出下さい。

## ★6月例会のレポート

Aコーナーは越本氏の「倉敷岡山の旅」、前田氏の「鍛冶屋一代ラッシュ」、有村氏の「ヒコーキ野郎」、椿氏の「フラメンコ」の4本。Cコーナーは柴谷氏の「出雲逍遥」紀行映画ですがラストで盛り上げて成功しました(月例賞)。参考作品に柴谷氏の「土は生きている」(56年キャノンコン入選)、有村氏の「つげぐし」(57年キャノンコン入選)の2本を上映。定刻9時散会二次会へ。

## ★友の会シールにご協力を!!

シールが思うように集まりません。フィルムの借り出しには10枚、毎月5人の購読者が必要です。OMC程のクラブでわずか月5枚も集まらないのが口惜しくてなりません。小型映画誌を冗って読むことが上達の道の一つでもあると思いますが……

★7月例会は24日(第4土曜日) 於・上六府教育会館。4F視聴覚室。6時20分開会。(前田記)

547,8

'82.8月 No.203

# OMC news

## ★秋の一泊撮影会ご案内

概報の通り10月10～11日(連休)に、手作り職人さんが息づく足助宿(愛知県)へ親睦を兼ねてロケーションを行います。今回は堀池氏のご厚意でマイクロバスにより現地迄出向きます。人員に限りがありますので、参加ご希望の方は今月例会時にお申込み下さい。

- ・特別会費香風亭一泊二食外諸経費含みお一人¥18,000の予定です(10月11日の昼食は各人負担)
- ・出発は10月10日午前6時30分 例会場前
- ・参加者へ簡単なストーリーシートをお渡しします。
- ・希望によりモデル同行も検討
- ・会費は8月例会参加時に分割して徴収。申込金¥5,000企画担当会計山形氏迄(企画係柴谷より)

## ★OMCフェスは9月24日!!

会員はもとより友人知人をお

誘いしご来場下さい。9月は公開映写会がメインイベントですので例会を休みます。

## ★7月例会のレポート

Aコーナー宮井氏の「サンデー北野町」上映後、春の撮影会作品の公開審査に移った。

娘の卒論	合原氏
もうひとつの京都	今井氏
わが町の史跡	戒本氏
もうひとつの京都	前田氏
もうひとつの京都	那須氏
もうひとつの京都	森氏
伏見散策	香島氏
もうひとつの京都	山形氏

今回は企画担当柴谷氏の意欲的なシナリオだけに長編が多く全作品を上映出来ず、7本のみ投票を行ないその結果を勘案して、会長・副会長が順位を決めた。その結果1位前田氏、2位山形氏、3位今井氏、4位森氏と決定した。

## ★8月例会は28日(第4土曜日) 例会場にて、6時20分開会。



557.9

'82.9月 No.204

# OMC news

## ★公開映写会は今月24日です

毎月お知らせしてありますが、年に一度のOMCフェスの発表会です。今年の映写会はまさに正念場です。会員各位は5人以上のお客さんをお誘いしてご来場下さい。全般的に8ミリ界低調の中であって、「さすがOMCの映写会は盛況だ」と云われたいものです。そのためには会員一人一人の努力如何にかかっています。よろしくお願いします。

## ★足助屋敷撮影会

10月10～11日の両日親睦会も兼ねて行います。出発時間を前月ニュースで6時半としましたが、<sup>午前</sup>8時半(例会場前集合)に繰り下げます。今回は撮影場所が遠く撮り足しがむずかしいので、現地では足まめに、フィルムをふんだんに使って数多くのショットを撮った人の勝ちになりそうです。珍しい被写体だけにユニークな紀行映画が生まれそうです。

## ★8月例会のレポート

ひところ少なかった出品数がこのごろ上向き傾向で喜ばしい限りです。Aコーナー堀池氏の「セブ島」、那須氏の「ギャルミコシ」、野村氏の「ガール」、上総氏の「スリランカの顔」の4本。

Cコーナーは上田氏の「京都で逢った人」(月例賞)、合原氏の「ああ通り抜け」の2本。特別作品に上田氏の長編「地車大修理」有村氏の「村のお地蔵さん」(第9回キャノンコン入選)の2本を上映。これからも撮影会作品で未上映のもの、旧作、リバイバル等、時間が許すかぎり上映しますので、一応ご持参下さい。時間が余ってもて余すことがないようにしたいと考えてます。

## ★友の会シールにご協力を!!

やっと10枚集まりました。10月例会では上映出来ると思います。今後ともよろしく。

★9月は公開映写会月ですので例会は休みます。

5/7.10

'82.10月 No.205

# OMC news

## ★OMCフェスは大成功!!

小型映画休刊の暗いニュースのあとで初めて行われた公開映写会でしたが、約7割の席が埋まり大成功。台風接近の中だけに案じられたが、誠に喜ばしい夜でした。

## ★アンケートについて (回収90票)

8ミリ界低調の中だけに観客の意見を求めてアンケートを実施。8ミリ、ビデオとも各々特長があるがどの映像を好むか①8ミリ、②ビデオ、③8ミリをビデオで見る、④両方とも、という設問に対し、①が40票、②が3票、③7票、④26票、白票が19で④が26票もあったのは意外でした。8ミリビデオとも各々の長所を生かした使われ方が増えてゆくものと思われる。

8ミリの映写会に来たのは①良い映画を見たいから、②技術の勉強のために、③義理で、④誘われた、⑤特定の作品を見たいからという設問では、①が34

票、②39票、③1票、④12票、⑤8票、白票が12。作品制作の勉強のためにが第1位でした。

今後も映写会があれば、①どの映写会も積極的に見に行く、②良い作品があれば行く、③余り見たいと思わないの設問に対しては、①が37票、②35票、③1票、白票が17。やはり良い作品を作ることが映写会成功に繋がるわけで、タイトルのつけ方内容とも一層努力しなければならないといえる。

作品についての感想では素晴らしく感動したと誉めてくれた人が多かった。しかしナレーターが同一人物なのは一考を要するという意見が散見された。

OMCに対する意見では、今後の発展を祈るという儀礼が多かった。作品時間が長いという意見もあった。

★10月例会は23日(第4土曜日) 於・上六府教育会館。4F視聴覚室。6時20分開会。時間厳守

# OMC news

## ★その後の小型映画の動向

10月号を最終号として早や2ヶ月。唯一の情報源がなくなって寂しい限り。柄沢編集長が来阪し今後の方向づけを色々検討中との報告が会長よりなされた。それによると、(1)隔月刊で32頁の機関誌を発行。(2)友の会ニュース、コンテスト情報、新製品ニュース等の記事が中心。(3)年間購読料は1万円位。これに対し隔月刊では待ちこがれなくなるから、頁数を減らしても月刊が好ましい旨の申入れを行った。機関誌形式は印刷代、送料とも高いので、ザラ紙による新聞形式にして廉価にして欲しいもの。いづれにしても世界に類を見ないCFC組織をこのまま絶やすのは惜まれます。8ミリ情報を網羅した機関誌・新聞の再刊を期待したいもの。これまでの小型映画の定価位の値段で内容が大巾に落ちるのは、非常事態ゆえ止む得ません。8ミ

り情報誌の再刊に協力するのだという積極的な姿勢が必要ではないでしょうか。値段が高い等の不満はあろうが、月に3杯のコーヒー代を節約するだけで購読出来ます。もしもこの再刊が失敗すれば、二度と再々刊の動きは起らないでしょう。情報誌が新誕生の暁きにはご購読を重ねてお願いいたします。

## ★10月例会のレポート

Aコーナー今井氏の「祝喜寿」柴谷氏の「宿場通りに手仕事の詩が」、前田氏の「エリ合成タイトルテスト」、Cコーナー上総氏の「天山北路」は月例賞。参考作品に増田氏のリバイバル「沖縄紀行」、及びCFCライブラリー「森」を上映。ライブラリーはやっと集ったシールで借り出したもので、最初にして最後となった記念すべき上映でした。

★徳永会員がご逝去されました。慎しんでお悔み申しあげます。

★11月例会は27日(第4土曜日)

5/7.12

'82.12月 No.207

# OMC news

## ★続CFC会報の動向

玄光社より会報再刊のためのアンケートが来ました。それによると①会員制で入会金1万円、年費1万円、隔月刊で32頁の発報を発行。内容は各種情報を中心。②ビデオサロンに4頁の8ミリ情報を掲載、の2案のいづれを希望するかでした。色々議論が沸騰したが、非常事態ゆえ止む得ないだろうとのことで①案に約10名の希望者があった。

なお再刊への道は流動的です。火を消さないでほしいもの。

## ★キャノンコンが行われます

小型映画7月号に中止が報せられたキャノンコンでしたが、例年通り実施されます。ノ切は1月末日。ビデオ部門が新設されただけで、賞金賞品は前回並みです。詳細は直接お問合せを。今回はPR不足なのでチャンスです。挑戦を期待!!

## ★11月例会のレポート

今月は出席者出品作品とも少

なく寂しい例会でした。Aコーナー野村氏の「嵯峨野ラッシュ」、有村氏の「ある恋の物語」(ワンダーフィルムコン奨励賞)及び「翼よNG集」及び小倉氏の「御堂筋プロムナード」の4本を上映。

年度賞が発表された。グランプリは「翼よ」の有村氏、会長賞は「トンボの世界」の吉村氏、OMC賞は「建立」の合原氏の3氏が受賞。つづいて春の撮影会作品の表彰を行った。最優秀賞は前田氏、優秀賞は山形氏、入選は今井氏、森氏の両氏です。

58年度では趣向をかえて最多出品賞、最多月例賞、アイデア賞、皆出席賞等その他色々考えています。会の運営を活発にするためにもご出席ご出品をお願いします。

★秋の足助屋敷撮影会作品のノ切は1月例会日です。

★12月例会は18日(第3土曜日)今月は師走につき例会を1週間繰上げます。お間違いなく!!